

三重県農村女性アドバイザーネットワーク通信

【vol.36】令和8年3月発行

三重県農村女性アドバイザー研修会 開催



「女子貝で話そう貝」



11月6日、桑名市長島町の「なばなの里」で「三重県農村女性アドバイザー研修会」を開催しました！今年度は桑員地区の女性アドバイザーの皆さんが中心となり、企画・運営してくださいました。当日は好天に恵まれ、なばなの里を散策した後、ベゴニアガーデンを見学しました。担当の方の案内のもと、一面のベゴニアをはじめとする沢山のお花に包まれて心癒され、少女の様なひと時を過ごさせていただきました。



お待ちかねの昼食には、桑員地区ならではの食材「はまぐり」と「なばな」を使った贅沢なランチを堪能。アドバイザーの館さんによる食材の説明もあり、お腹も心も大満足の内容でした。

そして、世話人代表の西村知恵さんのご挨拶や、桑員地区メンバーの紹介、はまぐりの絵付け体験と盛り沢山！地区活動の紹介では、農業の話だけでなく「〇〇市・町といえば〇〇！」といった地域の豆知識も披露され、参加者の皆さんも、「へえ～そうなんだ！」と関心をもって聞いていました。また、アドバイザーの中では珍しい海苔養殖や養蜂を行っている方からのお仕事紹介もありました。

はまぐりの絵付け体験では、桑員地区のアドバイザーさんが事前に準備を整えてくださっていたおかげで、サクサクっと、皆さん手際よくシールやマジック、切り抜きを使って、素敵な作品を完成させることができました😊。





来年度の担当は伊勢志摩地区です。桑名から伊勢志摩へ確実にバトンタッチされ、「前回、伊勢志摩地区での開催はコロナ禍により中止となってしまいましたが、今回は皆さんに楽しんでいただけるよう頑張りますので楽しみにしててください。」と力強いご挨拶をいただきました。



研修会終了後には、桑員地区のアドバイザーさんによる農産物販売が行われました。

お土産には、桑員地区アドバイザーの館さんのはちみつ詰め合わせや安永もちをいただき、紀州地区アドバイザーの笹之内さんから

らみかんの差し入れをいただきました。本当にありがとうございました。

当日実施したアンケートでは、ほぼ全ての方から「満足」「ある程度満足」と

の回答をいただき、非常に満足度の高い研修会となりました。また、「なかなか横のつながりを持つことの難しい農業分野、県内の様々な方たちが集まって有意義な時間を持つことができました。」「普段はなかなかできない、農業をしているからこそ話しができて良かった。」などの意見も寄せられ、まさに活動スローガンである“『きりり5』農業を通じ繋ぎ、支えます”を体現する一日となりました。今後も、女性ならではの発信力で、縦にも横にもたくさん繋ぎ支え、ネットワークを広げていきましょう！

最後に中央農業改良普及センターの清水所長より「アドバイザーの人数が年々減少傾向にある。適正な人数があるわけではないが、このままだと半分以下になってしまう。ぜひ皆さんの発信力で広げて行っていただきたい。今後の活動に期待しています。」とエールが送られました。

桑員地区の皆様！大変お世話になり、本当にありがとうございました。

アドバイザー研修に参加して 世話人：松本しのぶさん（松阪 肉用牛）

1年ぶりだったり、この前会ったよな、だったり、初めましてだったりの顔ぶれで例年通りの元気でとにかく楽しい交流研修会でした。なばなの里園内自由時間やグループ班でのおしゃべりで、今更ながら知らなかった事の学びや発見があり、帰ってから家族への報告が止まりません。はまぐり絵付け体験もそれぞれの個性爆発で何かにつけて笑い声が聞こえてきました。きっと皆さんの目尻のシワは増え、ほっぺは引きあがったことだと思います。閉会後はご好意でイルミネーションの時間まで滞在でき、前日のスーパームーンのおこぼれも一緒に満喫することができました。ただ、年々参加人数が減っていくことや定年が近いメンバーが多くなってきた事が目立ちアドバイザーの在り方も、皆さん思うところがあるようでした。それでもこの交流がなくなる事はとてももったいないことだと思うので、時代に合わせて形を変えながらも残して欲しいと思います。参加した人にしか実感できないこのパワーを経験してないメンバーにもぜひ、味わって欲しいと思います。

【四日市鈴鹿地区】

令和7年度の三泗鈴鹿地区農村女性アドバイザーは23名で活動しています。
この一年も充実した活動ができました！

～ 第1回会議・経営訪問（7月8日）～

鈴鹿市で養鶏を営む川北さんが4月にオープンした「CAFE EGG」で開催。参加者9名が、ボリューム満点のたまごサンドセットのランチを楽しんだ後、今年度の計画について話し合いました。市町の担当者の方にも同席いただき、新規アドバイザー候補の検討など、意見交換をしました。



～ 第2回会議・経営訪問（12月1日）～



四日市市の川村さんが経営する「川村養蜂場」を10名で訪問。実際に蜂の巣箱を見学するのも、経営内容をお聞きするのも初めてのことばかりで、参加したアドバイザー皆が興味深々でした。

その後、鈴鹿市の藤田さんのハウスに移動し、温泉熱を利用したハウスの見学をさせていただきました。クリスマスとお正月にぴったりの寄せ植えは、それぞれの

センスと藤田さんのアドバイ

スで素敵に出来上がりました。
会議では、亀山市の内田さん経営の「TSUMUGI 舎」の米粉のロールケーキをいただき、年度後半の活動を検討しました。



～ 食育活動（1月13日）～



四日市農芸高校の生徒36名を対象に、9名が参加して食育授業を行いました。この活動はR6年度に Agri ロマン四日市サルビアから引継ぎ、今回で2回目です。

アドバイザーは一人ずつ9班に分かれ、郷土料理の「とり飯」と、地産地消料理の「和風ロールキャベツ」「白あえ」「かぶせ茶鬼饅頭」の計4品を実習しました。米、廃鶏もも肉、キャベツ、豚肉、かぶせ茶は、アドバイザーが自らの生産物を材料提供しました。先生からは、「昨年、アドバイザーさんの生産物の素材の良さに感激した。生徒にぜひ知ってもらいたいと思い継続してほしい。」との声をいただきました。高校生との交流の中で、郷土料理を伝えること、地元農産物を知ってもらうことができ、有意義な活動となりました。

～交流会（2月18日）～

3月に新たに認定される新規アドバイザーの方にもお声かけし、21名が集まって交流会を行いました。新しい仲間とも交流を深めることができ、次年度からの活動もさらに楽しみになりました。

この他、三泗地区アドバイザーは、市町長との意見交換会（9月）に5名、JA幹部との意見交換会（11月）に6名が参加、また、四日市市のアドバイザーは市議会議員との意見交換会（1月）に2名が参加するなど、自分たちの意見を伝える場へも参画しました。

【津地区】

☆津地区 今年度の活動を紹介します！

【海女さんとの交流視察研修 in 鳥羽市立海の博物館を開催しました】

7月15日、鳥羽市立海の博物館にて、農村女性アドバイザーの視察研修を開催しました。海女漁の文化を学び、異業種で活躍する女性たちの視点から農業経営への新たなヒントを得ることが目的です。

鳥羽市安楽島地区の現役海女のお二人をお迎えした交流会では、パワフルな活動の数々を伺いました。資源保護のため潜れる日数は限られていますが、お二人は「とにかく海が好き、海を見ると潜りたくなる」という純粋な情熱を胸に活動されています。海女漁のみならず、惣菜加工や養殖業などに取り組む多角経営のほか、鳥羽市公認の現役海女アイドル「とばあば」としてCDデビューするなど、枠に囚われない柔軟な挑戦には驚かされるばかりでした。

また、「自分たちが獲ったものを直接届けたい」と、14年前から朝市「あらしま新鮮組」を始め、今では開始直後に完売するほどの人気を博しています。自ら販路を切り拓くその姿勢は、大きな励みとなりました。

参加者からは「海女さんの地域愛と情熱に元気をもらった」「海と陸でフィールドは違えど、地域を守る熱意を農業に活かしたい」といった前向きな感想が寄せられ、非常に有意義な交流となりました。



海女のお二人と集合写真



かつお節削り体験も行いました

【伊賀地区&津地区の農村女性アドバイザー交流研修会が開催されました】

11月27日、伊賀地区の皆様にお世話になり、自動車部品メーカーが養鶏業を継承し、カフェや体験施設を運営する「FUJIHUB」を訪問しました。

代表からは、事業承継のリアルな苦労話も伺いました。最初は軽トラ20台分の不用品を片付けることから始め、製造業の「整理整頓」や「見える化」を導入。壁にぶつかった時も、最後は「養鶏事業を良くしたい」という熱い想いを言葉にしてはっきりと伝え、信頼を築いてこられたそうです。

「自分が美味しいと思うものしか作らない」という真っすぐな情熱に触れ、たくさんの元気をいただいた一日となりました。



卵をたっぷり使ったおいしいランチバイキングでした！

【松阪地区の活動をご紹介】 R7年度は会員14名で活動しています

○11月6日に「なばなの里」(桑名市)で開催された三重県農村女性アドバイザー研修会に5名が参加しました。桑員地区のみなさんの指導で「はまぐり絵づけ体験」を行いながら、他地区のみなさんともにぎやかに交流できました。研修会解散後には松阪地区の参加メンバー全員でイルミネーションを堪能し、食事をしながら語り合いました。

桑員地区の皆さん
ありがとう
ございました！



真剣に絵づけ体験



参加者みんなで記念撮影

○11月23日に開催された「松阪牛まつり」に青少年クラブと共同で出展し、6名が参加しました。アドバイザー企画の梨品種の紹介では普段見る機会が少ない多様な梨に驚きの声が上がリ、野菜スタンプを使ったオリジナル巾着づくりでは、一時お待ちいただくお客様も出るなど大賑わいとなりました。



青少年クラブ参加者と一緒に
記念撮影



巾着づくりの賑わい

たくさん
ご来場いただいて
大盛況でした！

○青年農業士や青少年クラブ員から組織や年代を超えて交流したいという提案があり、指導農業士、青年農業士、農村女性アドバイザー、青少年クラブ合同の交流会が1月23日に開催され、アドバイザー1名が参加しました。指導農業士会長の基調講演を踏まえ、さまざまな組織、年代の参加者と農業経営について語り合いました。



各班に分かれてグループワーク



代表で乾杯！

【伊勢志摩地区】

伊勢志摩地区アドバイザーの活動報告

令和7年度、伊勢志摩地区の農村女性アドバイザーは12名。
 水稻2名、いちご4名、花き4名、肉牛1名、種鶏1名です。今年度の活動を紹介します。

R7年度 伊勢志摩地区農村女性アドバイザーの会 活動

R8年10月20日伊勢志摩地区開催！

	日時	内容	場所
①	6月3日	企画会議	伊勢市
②	6月7日	伊勢市男女共同参画映画祭への協力	伊勢市
③	7月31日	リフレッシュ会(ソクサイズ & お茶会)	玉城町
④	11月6日	県ネットワーク研修会	桑名市
⑤	11月26日	地域内異業種との交流会	伊勢市
⑥	2月3日	経営訪問&企画会議	度会町

【私たちの活動 春夏秋冬】

- 春** 春は農家にとってとても忙しい時期ですね。なので、皆しっかり働きました。
- 夏** 6月3日 大雨降りしきり中で企画会議を開き、やっと会えました！
 一年間の活動を計画しました。
- 6月7日 農村女性をテーマにした伊勢市男女共同参画映画祭が行われ、私たちの活動を紹介する等全面協力しました。
- 7月31日 猛暑日が続く中、玉城町玄甲舎にて、リフレッシュタイム
 二人一組で足を使って踏みあいっこする「ソクサイズ」を実習しました。
 とても痛気持ちよい！ぜひ、皆さんもやってみて！その後、メンバーによるお抹茶をいただき、リフレッシュする一日になりました。
- 秋** 11月6日 県研修会に近鉄女子旅で参加しました。久しぶりの電車旅にウキウキ！
 さて、来年は伊勢志摩開催です。どんな研修会にしましょうか。
- 11月26日 異業種との交流会と銘打って、皆様にはナイショの研修会。？なに？
- 冬** 2月3日 度会町の若手のメンバーさんのところに経営訪問。
 普段見慣れない風景にびっくりし、頑張っている姿にファイトをいただき、その後はアドバイザーOGが経営する飲食店でランチミーティング、充実した一日でした。

来年も、ムリなく、楽しく、ちょっとためになる活動を、ぼちぼちやっていきます。

R8年10月20日伊勢志摩地区開催。おかげ横丁あたりでお会いしましょう。

伊賀地区 今年度の活動を紹介します♪

○三重県農村女性アドバイザー研修会に参加しました

11月6日(木)三重県農村女性アドバイザー交流会が桑名市長島町のなばなの里で開催され、伊賀地区から7名が参加しました。

なばなの里の見学の後、桑員地区の活動紹介やはまぐり絵付け体験を通して、県内の農村女性アドバイザーの皆さんと交流しました。

桑名地区および県ネットワークの世話人の皆様に大変お世話になり有意義な研修会となりました。



○津地区伊賀地区農村女性アドバイザー交流研修会をいなべ市で開催しました



11月27日(木)津地区と伊賀地区の農村女性アドバイザー交流研修会を開催しました。令和6年度の農山漁村のつどいでご講演いただいたフジ技研株式会社が運営するいなべ市の「FUJIHUB(フジハブ)」を訪問し、トマトハウスの見学をさせていただくとともに、養鶏業から経営を受け継ぎ、新たに6次産業化に取り組まれている取組や農業参入のきっかけ、参入することでわかった農業・農村との繋がりなどのお話を伺いました。「異業種からの視点での業務の見える化や業務改善に取り組んでいることなど参考になるお話が聞けた」「出会いを大切にし、行動することの大切さや事業継承により農業参入したことで、地域との関りが深まり、地元で愛される企業として地域貢献ができているお話に感銘を受けた」などの感想が聞かれました。



農産物直売所うりぼうの見学や FUJIcafe の地産地消ランチを囲んで交流も深まりました。



○研修報告会を開催しました。

1月30日(金)農林水産省の女性就農環境改善・活躍推進事業である「女性農業者のための事業推進力&チームマネジメント力アップ研修」の令和7年度研修に伊賀市の岡本朋子さんが参加され、全国から集まった女性農業者と交流しながら「リーダーシップスキル」「コミュニケーションスキル」を学ばれたことから、研修交流会&新年会を開催しました。リーダーシップを発揮するためのスキルアップのために行動されたことに刺激を受け、お互いが自らのやりたいことを見直す機会ともなり、活発な意見交換となりました。



☆紀州地区農村女性アドバイザーの紹介をします。

今年度の紀州地区農村女性アドバイザーは7名で活動をしています。

☆今年度の活動を紹介します。

<亀山市で養豚とイチゴ栽培をされている方々のもとへ視察をしました！>

1月30日に亀山市のアドバイザー小林陽子さんの「小林ファーム」を訪問し、養豚の経営やブタの飼育方法について教えていただきました。ブタが飼育されている畜舎を外から見ながら、ブタの出荷までの流れを学びました。

その後、小林ファームの豚肉を100%使ったハンバーガーを提供しているお店で昼食をとりました。昼食後は小林ファームの事務所で、小林さんの次男小林勝太さんから「お肉の食べ方講座」として、部位ごとの美味しい食べ方を教えていただきました。



養豚場の近くでブタの飼育について説明を受けている様子



「お肉の食べ方講座」を受講

最後は同じ亀山市のアドバイザー内田美由紀さんが営んでいるカフェ「TSUMUGI 舎」にて美味しいイチゴとお茶をいただきました。お茶を楽しみながら、内田さんのイチゴ栽培や小林さんの経営についてお話を聞き、他地域のアドバイザーと交流を深めました。



TSUMUGI 舎にて交流



イチゴの食べ比べ

【学びの時間】

☆担い手支援課からの情報コーナー☆

女性農業者の活躍促進・登用推進について

農林水産業において女性は、新たな発想と取組により、地域の活性化に大きな役割を果たしています。重要な担い手である女性の基幹的農業従事者を調べてみました。

	農林業センサス 2025（概数値）	農林業センサス 2020（前回）	前回と比較して
全国	36.5%	39.7%	3.2%減！
三重県	33.6%	35.1%	1.5%減！
愛知県	42.3%	44.6%	2.3%減！
岐阜県	35.1%	38.3%	3.2%減！

東海三県すべてで、女性の割合が減少しており、三重県が最も低い割合となっています。

県では男女共同参画基本計画を策定し、農業分野における方針決定の場への女性の参画を推進しています。農業委員会や農業協同組合等に対して役員への登用を働きかけることや家族経営協定の普及・啓発、女性が働きやすい環境の整備などへの支援により、女性の割合を高めていくよう取り組んでまいります。



令和7年度の補助事業の取組から

本年度、【農業分野における多様な担い手確保事業】という補助事業を実施しました。

女性が働きやすい環境づくりを目的に、新たに女性を雇用する事業体に対して、施設・機材等の導入を支援する事業です。

17件の申請があり、簡易トイレや休憩所の設置や、暑熱対策としてのスポットクーラー等の導入に活用いただきました。

令和8年度についても実施予定ですので、ぜひご活用下さい。詳細は各農林水産事務所へお問い合わせください。

家族経営協定について

家族経営協定は、家族みんなが意欲とやりがいを持ち、魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、働きやすい就労環境づくりなどについて、十分な話し合いをして取り決めるものです。本県では、令和7年3月末時点で393戸が家族経営協定を締結しています。

また締結していないという方は、家族で目標・ルールについて話し合いをしてみませんか？

家族経営では、家族が共に生活を営むなかで、経営に携わることから、お互いが愛情をもって、気持ちよく働くためのルールや環境をつくるのが大切です。しっかりお互いが向き合いながら、同じ目標に向かって一人ひとりが活躍できる経営について考えましょう。

既に締結されている方は、見直しをするチャンスです

自分たちの考えていた農業経営と現状にずれはありませんか？

定期的に家族内で話し合い、経営全体を見直すことで新たな課題に気付くかもしれません。

詳細はガイドブック：<https://www.maff.go.jp/j/keiei/jyosei/kyoutei.html> をご覧ください。

農業委員について

☆農業委員とは？

市町に設置されている農業委員会の一員として、効率的な農地利用について公正な審査を行うほか、地域農業の発展に向けて農地利用の最適化に向けた取組を推進します。

【農業委員会の業務】

- ① 優良農地の確保と利用
(農地法に基づく許可、農地パトロール、
遊休農地所有者に対する意向確認等)
- ② 農地利用の最適化の推進
(担い手への農地利用の集積・集約化、
遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)
- ③ 農業施策に関する意見の提出
(行政等への提言)



【委員の任期及び任命】

任期：3年

農業者等の推薦・募集の結果を尊重して、議会の同意を得て市町長により任命されます。

【農業委員の数】

29市町 422名の農業委員のうち、24市町で50名の女性農業委員が活躍されています。
(令和7年4月1日現在)

☆女性が農業委員になると…？

- ・農業委員会に新たな視点加わり、男性だけでは持ちえなかった経験や情報網などのリソースがもたらされます。
- ・結果、地域内の多様な意見に基づく検討につながり、組織の活性化や委員会業務の進展等の効果が期待されます。

☆地域農業を元気にしていくためには、女性の力が必要です。

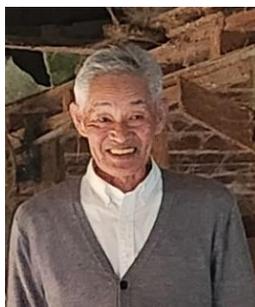
ぜひ前向きに検討をお願いいたします！

【トピックス】

きらり発信！

第3回企画運営会議（世話人会）

令和7年10月29日、第3回企画運営会議（世話人会）にあわせて、有限会社松本畜産へ現地調査に伺いました。松本畜産は「特産松阪牛」と「松阪牛」をともに肥育されており、特産松阪牛は自社経営のレストランや精肉販売等に使用されています。特産松阪牛とは、兵庫県但馬地方で生まれた子牛（生後12か月未満）を導入し、900日以上という長期にわたり大切に育て上げた牛のことです。但馬の牛の特徴は、デリケートで品質改良されていないので血統が濃いこと。また、脂の融点が低く旨味が強いのが特徴であること等、貴重なお話を伺いました。お勉強の後はお楽しみのカフェレストランです。世話人の西村さんから可愛らしい和菓子の差し入れをいただき、皆様、ほっこり😊。その後、ご主人様に牛舎を案内していただき、実際の現場を拝見しながらさらに理解を深めました。時間を忘れるほど熱心に過ごした一日でした。



第4回企画運営会議（世話人会）

令和8年1月21日、第4回企画運営会議（世話人会）にあわせて、代表世話人である西村知恵さんのいちごハウスへ現地調査に伺いました。ハウスではいちごの収穫方法を学び、パック詰めを体験させていただきました。実際にやってみると、なかなか目標ぴったりの重さになりません。西村さんは見ただけでいちごの重さがわかります。（凄すぎる～←心の声）また、いちごを綺麗に見せる並べ方も教えていただきました。

そして、皆様お待ちかねの楽しい時間！西村さんのいちごを使ったスイーツが味わえるカフェ「ハナツムリ」さんを訪れました。いちごがたっぷり美味しくかったです。伊勢市内にある西村さんおすすめのお店も教えていただき、お腹いっぱい、お土産いっぱいの充実した一日になりました。



西村さん家の
いちご



♪第38回農山漁村のつどいが開催されました♪

「“いい服の日” に作業服でモチベーションアップ！
～地域貢献と I ターンのカ～」

今年度の「農山漁村のつどい」は、11月29日に開催された『男女共同参画フォーラム～みえの男女2025秋～』の分科会として実施されました。今回は『“いい服の日” に作業服でモチベーションアップ！～地域貢献と I ターンのカ～』をテーマに、東京都から三重県へ I ターンし、現在は山村の現場で活躍されている松阪飯南森林組合の長森氏を講師にお招きしました。

講演では、地域貢献や I ターンの価値、そして働きやすい服装などについて貴重なお話を伺いました。講演の後は、4つのグループに分かれて各自の仕事着・作業着の「工夫」や「気を付けていること」、「欲しい機能」などについて意見交換。それぞれの仕事着の「ここを工夫しているよ」「こんな機能があったらいいな」といった話題で大いに盛り上がりました。代表世話人の西村さんがお持ちいただいた、「作業中に水分補給ができるよう、ペットボトルが入るポケットがついたエプロン」にも注目が集まりました。アドバイザーさん同士でも、おすすめの作業着や熱中症対策グッズなど、役立つ情報をどんどん交換していけたら嬉しいですね！

講演『林業への希望と林業の現実 移住と安全でふくきたる』



西村さんのエプロン。ぜひ欲しいですが、ご家族お手製の一点ものです。

農村女性アドバイザーホームページ

ネットワーク通信最新号を右の二次元コードから Web で見ることができます！



次回の研修会は

令和8年10月20日(火)

「**神宮会館**」で計画中！お楽しみに♪



<三重県農村女性アドバイザーネットワーク事務局>

〒515-2316 松阪市嬉野川北町 530 三重県中央農業改良普及センター普及企画室担い手課 (太田、長嶋)

TEL:0598-42-6715 FAX:0598-42-7762